

# News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.66  
SUMMER  
/AUTUMN  
2017



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

## みことばをほめたたえる

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子

神にあって、私はみことばを、ほめたたえます。

(詩篇56篇4節)



2011年から始めた詩篇の朗読と学びで冒頭のみことばを発見した時、大きな驚きを覚えました。それまで、私はみことばをほめたたえたことはありませんでしたし、他の人がみことばをほめたたえるのを聞いたこともありませんでした。

しかし、56篇では、4節のほかにも10節で、「神にあって、私はみことばをほめたたえます。主にあって、私はみことばをほめたたえます。」と、二度もみことばへの賛美が繰り返されています。ここから、この詩篇の作者であるダビデが、神にあって、どれほどみことばをほめたたえたかを知ることが出来ると思います。以来、私は、みことばとは何なのか、またこのみことばをほめたたえるということはどういうことなのかを考え、思い巡らすようになりました。

神は、ことばをもってすべてのものを造られました(創世記1章、ヨハネ1:3)。初めにことばがあり、ことばは神とともにあり、ことばは神(イエス)でありました(ヨハネ1:1)。みことばは信仰を生み出し(ローマ10:17)、新しいいのちの種であり(1ペテロ1:23)、霊的成長の糧(1ペテロ2:2、ヘブル5:14)です。みことばはからだをいやし(詩篇107:20、箴言4:20-22)、罪とサタンに打ち勝つことを可能にします(詩篇119:10-11、マタイ4章では、イエスはみことばによってサタンの誘惑に打ち勝った。黙示録12:11の「あかしのことば」とは、神のことばと理解する)。さらには、詩篇138篇2節では、主は、ご自分のすべての御名のゆえに、ご自身のみことばを高く上げられた(!)とさえ語られています。

そして、ついに、私もダビデに倣い、みことばをほめたたえてみました。その時、みことばを、愛に溢れたひとりの人格として触れることができるほどに感じました。それまでどこかピンと来ていなかったローマ人への手紙10章8節の、「みことばはあなたの近くにある。あなたの口にあり、あなたの心にある。」が、やっと心で理解できたような気がしました。

神の口から、神の息として、あるいは神の息と共に発せられた「みことば」。それは、同じく神の息である聖霊とも、ことばである神のひとり子イエスとも言えるでしょう。しかし、「みことば」、「聖霊」、「イエス」とそれぞれの言葉が使い分けられる時、それらは完全に一体なるものであると同時に、独自の動きを受け持つそれぞれのご人格であることを理解しなければならないのだと思います。

前号で、「感謝」と「賛美」を通して、神の臨在に近づかせていただく「礼拝」をささげられるようになったいきさつをお分かちしました。その「礼拝」に、今、「みことばをほめたたえる」という豊かさが加えられたことを、感動をもって主に感謝しています。しかし、神への礼拝がこれからも守られ、さらに豊かな時とさせていただくために、何よりもまず、私の内側をみことばの光で照らしていただき、示された罪を告白し、日々尊い小羊の血潮で洗いきよめていただく準備から始めることを、決して忘れてはいけなと思っています。



# 欧州レポート

～ライブツィヒ～

「第34回ヨーロッパ・キリスト者の集い」

8月3日～6日、ライブツィヒにて開催された『第34回ヨーロッパ・キリスト者の集い』（主催：ミュンヘン日本語キリスト教会、テーマ「キリストが内に生きる」）を、大きな祝福のうちに終えることができました。今年は、ルター宗教改革500年を記念して開催された特別な集いであつたため、欧州内外から340名もの参加がありました。私は「賛美の午後」と分科会「バッハ、信仰と音楽」で奉仕させていただきました。



トーマス教会での賛美

## 「賛美の午後」

4日、バッハが長年カントールを務めたトーマス教会をお借りして、「賛美の午後」のひとつきを持たせていただくことが出来たのは、大きな喜びでした。

今年の集いに備え、2年前にトーマス教会を訪問し、トーマス教会合唱団とゲヴァントハウス管弦楽団とによる、土曜の「モテット」（音楽礼拝）と日曜の礼拝（賛美礼拝）を聞きました。神を礼拝するために見事に組まれたプログラム、言葉を奏でるオルガンの響き、歌う歌詞が明瞭に聞こえる適切な響きの教会堂、聖書朗読、メッセージ、会衆賛美…すべてが、神のことばを伝え、歌う時であったことに大きな感動を覚えました。

この礼拝を参考に、「賛美の午後」では、ルターの「神はわがやぐら」とバッハの礼拝楽曲を中心にプログラムが組まれました。歌うたい、オルガン、ヴァイオリン、チェロ、コントラバス、フルート、クラリネット、トランペットの器楽奏者、指揮者

の総勢70名からなる賛美チームと全会衆がひとつとなり、聖なる神の御前で賛美礼拝をささげさせていただけたことを、主に心から感謝しています。

## 分科会「バッハ、信仰と音楽」

分科会では、私の他に、これまで宗教改革時代の賛美の研究を深めて来られた横山正子さん、近藤はるみさん、内村まり子さんにも講演をお願いしました。

特に内村さんの講演から、バッハの信仰の足跡を、彼の音楽の変遷を通して辿ることができました。ルターは、神のみこころから逸れた歩みをしてきた教会を聖書の真理に戻す働きのために用いられた貴重な器でしたが、彼の晩年のユダヤ人迫害は、ルター派教会の歩みに負の影響も及ぼしました。この点に関して、ルターから200年後に生まれたバッハの信仰がどのように変遷していったのか、内村さんの講演から一部を抜粋して紹介させていただきます。

バッハのライブツィヒ前期に作られたヨハネ受難曲は『イエス殺し』の罪をユダヤ人になすりつけることによって『反ユダヤ主義』を増大させ、ヒトラーに至ったという説がある。毎年『受難週』に、聖職者達が、主イエスを神の子と認めないユダヤ人の『かたくなさ』を説教壇から非難すると、それを聞いた民衆がユダヤ人達を攻撃した。受難劇や受難曲はそれを増幅する大きな役割を担っていた。

しかし、この時代にユダヤ人に対するデマ（キリスト教徒の子供を殺す等）には根拠がないことを示す論文が世に出るようになった。この流れのなか、マタイ受難曲にあって、バッハが選んだ歌詞には、反ユダヤ主義的文言がひとつもない。イエスを十字架につけたのは（ユダヤ人でなく）『私の罪』なのだと言われている（19曲目のレチタティフとコラル、合唱であるコラルで歌われることは『私たちの罪』を意味していると言えるだろう）バッハの心に変化があったことも推察される。

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター  
テナントビル**

地下鉄北浜駅②号出口正面

〒541-0041 大阪府中央区北浜2-3-10  
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

医療法人  
**クリニック石田**

診療科目 / 耳鼻咽喉科

〒558-0055  
大阪市住吉区万代3-12-5  
ハイムスタイン2階

南海高野線、帝塚山駅下車 / 徒歩10分  
阪堺軌道鉄道土町線、帝塚山3丁目下車 / 徒歩5分  
大阪府立急性期医療センター前 / 北に徒歩3分

**TEL.06-6676-1700**  
院長:石田 稔

CLINIC ISHIDA  
<http://www.eonet.ne.jp/~clinic-ishida/>

**(有)吉屋**

〒558-0014  
大阪府大阪市  
住吉区我孫子5-4-13  
TEL 06-6699-2415

産科・婦人科・小児科  
医療法人社団グロリア会  
**月寒グロリアクリニック**

院長 平島 功二

〒062-0053  
札幌市豊平区月寒東3条16丁目3番8号  
TEL.011-854-4103 FAX.011-854-4127

株式会社  
**富川グロリアホーム**

「終の住みか」を備えるために  
労れます。

〒055-0006  
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49  
TEL.01456-3-4000

**ミクニカイ株式会社**  
水とエネルギー

本社 〒532-0033  
大阪市淀川区新高3丁目7番9号  
TEL(06)6394-0671  
FAX(06)6394-0710  
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com  
URL:<http://www.mikunikikai.com>

**atelier  
phos**

DESIGN < WORK

<http://atelier-phos.com/>



# 宗教改革時代の賛美 8

「主のことばのみが」～ヨハン・ヴァルター～

# Wittenber- gisch Gesangbüchli durch Johan. Waltern/

羽村にある神学校、聖書宣教会の教会音楽夏季講習会に初めて参加したのは、1993年のことだったと思います。その講習会で歌われた数曲のモテット(合唱曲)は、大きなインパクトをもって私の心に刻み込まれたようで、その後、よく、それらの歌詞が私の口をついて出てくるようになりました。その一曲が、ヨハン・ヴァルター Johann Walter (1496-1570)の「主のことばのみが」Allein auf Gottes Wortです。

ヴァルターは、宗教改革時代、非常に早い時期にルター派に転じ、ルター(1483-1546)を助けて、ドイツ・プロテスタント教会音楽の基礎を築きました。また彼は、ドイツで初めて出版されたプロテスタント讃美歌集「宗教歌曲小集」Geistliches Gesangbüchleinを編纂した人です。

私は、次第に、このモテットを、いつか欧州の邦人信仰者と共に賛美することが出来たらと願うようになりました。それが実現したのが、2008年にヴィッテンベルクで行われた『第25回ヨーロッパ・キリスト者の集い』です。ルターが「95か条の提題」を打ち付けた城教会で行われた礼拝のために、12名の「グナーデン・アンサンブル」(恵みのアンサンブル)を結成し、「主のことばのみが」をプログラムに加えました。そして、今年、ルター宗教改革500年を記念してライブツィヒで開催された34回目の集いでは、バッハが長年カントールを務めたトーマス教会にて、総勢70名でこの曲を高らかに賛美させていただいたのでした。

## 主のことばのみが

### Allein auf Gottes Wort

Johann Walter 作詞作曲、岳藤豪希 訳詞

主のことばのみが 信仰築く基(もと)になり  
とこしえに続く宝なり ただ委ね従う  
世の知恵に頼らず 主のことばこそ唯一の力  
主の義と恵みに 教え導く

※「主のことばのみ」の日本語賛美の録音は、エヴァンゲリウム・カントライ(指揮:岳藤豪希)のCD「神は世を愛し」から聞くことが出来ます。

長年私のくちびるに置かれた「主のことばのみが」ですが、「主のことばのみが信仰築く基なり」という確信をいただくようになったのは、実は今年に入ってからのことです。昨年、ある出来事を通して、自分の信仰の足りなさを思い知らされました。イエスは弟子たちに、もし、からし種ほどの信仰があったなら、この山に、『ここからあそこに移れ』と言えば移るのです、とおっしゃいました(マタイ17:20)。「この山」とは、弟子たちが追い出せなかった霊のことを言っているのでしょうか。あの時の弟子たち同様に、敵の力を退けることに躊躇した私も、からし種の信仰が欠けていたからだったということを知り、主に信仰を増し加えてくださいと祈り求めるようになりました。

からし種の信仰を得る方法を知ったのは、ローマ人への手紙10章17節を読んだ時でした。

そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

信仰はみことばを聞くことから始まる! そう悟った私は、信仰を持ったばかりの時のように、みことばのカードを作って暗唱し、暗唱したみことばを声に出して語り、それを自分の耳で聞くという生活を始めるようになりました。次第に、それらのみことばが、信仰生活を始めたばかりの時とは比べものにならない深さをもって、内側に根を広げていくのを感じるようになりました。今、私は確信をもって、「主のことばのみが信仰築く基(もと)なり」と謳うことができます。そしてこれからも、絶えずみことばを聞きながら、主に信仰を増し加えていきたいと思っています。



Walterの讃美歌集が置かれた絵画

**黒田禎一郎牧師と行く  
聖地イスラエル  
11日間の旅**  
2018年2/6(火)～2/16(金)  
お問い合わせ・お申し込み  
(株)ホーリーランド  
ツーリストセンター  
担当:石田  
TEL: 06-6226-1307  
FAX: 06-6226-1308  
http://htcjrm.com/  
E-Mail: office@htcjrm.com

**賛美セミナーⅡ  
DVD 2枚組**  
15年11月7日大阪セミナー録画  
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠのアイテムと合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

**賛美セミナーⅠ  
DVD 2枚組**  
13年11月4日大阪セミナー録画  
定価4,000円(税込)

**賛美セミナーⅠ  
CD 4枚組**  
13年11月9日東京セミナー録音  
定価4,000円(税込)

**賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!**

## 工藤 篤子 著書&音楽CD 好評発売中

ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで

 主よ人の望みの喜びよ 定価1,500円(税込)	 よき力に守られて 定価2,500円(税込)	 ほんとうの願い 定価3,000円(税込)	 神だけが 定価2,500円(税込)
 カンシオン 定価2,500円(税込)	 Come To Me 定価3,000円(税込)	 賛美 Adorar 定価1,500円(税込)	<p>Notice 「賛美セミナー」主催をご希望、あるいはお考えくださる教会・団体がありましたら、どうぞいつでもお気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。</p>



# Schedule 工藤篤子 2017年秋・冬スケジュール

9月		12月	
22日(金)	来日	4日(月) 18:45~	<b>ブレイズ・ワークショップ</b> 連絡先:06-6226-1334 (ミッション・宣教の声)
<b>10月</b>		10日(日) 14:00~	<b>クライストコミュニティー宝塚チャペル</b> <b>クリスマス賛美コンサート</b> 連絡先:0797-81-2870 (教会)
14日(土) 14:00~	<b>グローリーチャーチ高松 秋のチャペル・コンサート</b>	17日(日) 14:00~	<b>北信太聖書教会 クリスマス・コンサート</b> 連絡先:0725-41-6204 (教会)
15日(日) 10:30~	<b>グローリーチャーチ高松 伝道礼拝 賛美とメッセージ</b> 連絡先:087-862-2833 (教会)	24日(日) 14:00~	<b>青森県 五所川原福音キリスト教会</b> <b>クリスマス・コンサート</b> 連絡先:0173-35-4363 (教会)
22日(日) 14:00~	<b>神奈川県 二宮山西キリスト教会</b> <b>秋のチャペル・コンサート</b> 連絡先:0463-71-2167 (教会)		
27日(金) 19:00~	<b>AKWM主催 第16回チャリティー・コンサート</b> <b>~ミャンマー「ヤベツ学生の家」(子どもの家)支援~</b> 連絡先:06-6226-1334 (AKWM,「ミッション・宣教の声」方)		
29日(日) 16:00~	<b>宝塚栄光教会 チャペル・コンサート</b> 連絡先:0797-73-6076 (教会)		

## 16th AKWM CHARITY CONCERT

### 第16回チャリティー・コンサート

ミャンマーの子どもの家「ヤベツ学生の家」支援



地中海ソプラノ  
工藤 篤子



ピアノ  
野田 常喜

2017年10月27日(金) 開演/19:00(開場/18:30)  
会場:北浜スクエア(VIP関西センター 9F) チケット:1500円  
お問合せ:Tel.06-6226-1334(「ミッション・宣教の声」方, AKWM事務局)

これまでのチャリティー・コンサートでも何度か支援をさせていただいてきたミャンマーの「ヤベツ学生の家」(様々な事情で親と一緒に暮らせない子どもたちが暮らす、元「希望の家」)では、建築から6年経った現在、あちこちに修繕の必要が出て来ています。子どもたちが安全に、安心して暮らせるよう、必要のために支援を届けたいと願っています。皆様のお祈りとご支援をよろしくお願いたします。近隣の方は、ぜひご友人・知人をお誘いください、お運びください。



### 愛する皆さまへ

聖なる主の御名をほめたたえます。

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズの働きのためのお祈りとご支援に、心からの感謝を申し上げます。メルマガを受信されている皆さまには既にお知らせしましたが、老齢の父と知的障害の妹のことを考え、来年の5月から6月頃に本帰国することになりました。帰国後は、本拠地を事務所のある大阪に置き、夏や冬の活動の少ない時期を札幌の実家で、また定期的に短期間の里帰りを考えています。帰国に向けてのたくさん準備と、帰国後の新たな歩みのためにお祈りください。

10月からのコンサートとメッセージ奉仕を主が用いてくださいますように。また、声楽賛美のレッスンを希望される方がありましたら、11月後半に時間を取ることができますので、事務局にご連絡ください。

イエス・キリストの恵みが、皆さまとともにありますように。

工藤 篤子



工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 事務局  
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号  
VIP関西センター5F「ミッション・宣教の声」方  
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

#### 口座が新しくなりました

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」  
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 瓦町支店(店番003)  
普通預金 0133752 「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」

※三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中!

[office@akworship.com](mailto:office@akworship.com)

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Japanese HP <http://akworship.com/>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>

AKWM事務局のメールアドレスと日本語URLが新しくなりました